



**Japan
Heart**

2015 Annual Report

年次報告書

2015.4.1～2016.3.31

今日もアジアのどこかで 病気の子どもたちのために—

この歳になっても時折、神様に会ったような気がする時がある。

瀕死の子どもが、回復し食事を食べはじめた時。

何気なく道端ですれ違う小さな子どもに微笑んでみたら、微笑み返してくれた時。

大きな手術をした子どもが、深夜そっと様子を見に行くと母親にしっかりしがみついて寝息をたてて寝ていた時。

私達の人生はいつも不安だらけで誰かに支えてほしかったり、自分を見守るもっと大きな力を確信したかったりしてしまう。

こんな私でもまず誰かのために少し力を出してみたら、きっと困った時や苦しい時は誰かが助けてくれる、きっと静かに見守ってくれている大きな力が働いて私を救ってくれるのではないかと無邪気にも信じている。

だからかもしれない。

今日もアジアのどこかで病気の子どもたちのために精一杯働かせてもらっている。

特定非営利活動法人ジャパンハート代表／小児外科医

吉岡秀人

photograph by JUNJI NAITO

ジャパンハートのあゆみ

1995

吉岡秀人・ミャンマーで医療活動を開始

2004

国際医療ボランティア団体ジャパンハート設立

《ミャンマー》ヤンゴンオフィス開設

《ミャンマー》ワッチェ慈善病院で医療支援活動を開始

国際長期研修開始（現・国際看護長期研修）

2008

《日本》東京事務局開設

《カンボジア》プノンペンオフィス開設

《ミャンマー》サイクロン緊急救援・孤児支援開始

《ミャンマー》マンダレー寺小屋保健室開設

《日本》僻地離島支援開始

心の医療事業開始（現・すまいるスマイルプロジェクト）

自由都市・堺 平和貢献賞 奨励賞受賞

NPO 法人格取得

2009

《カンボジア》保健活動開始

《カンボジア》外務省覚書締結

《カンボジア》保健省覚書締結

《カンボジア》医療支援活動を開始

2010

《ミャンマー》養育施設 DreamTrain 開設

《ミャンマー》視覚障がい者自立支援プロジェクト開始

医療マッサージ訓練センター開設

大山健康財団賞受賞（吉岡秀人）

2011

《ミャンマー》里親支援制度開設

《日本》東日本大震災緊急医療支援、復興支援開始

《カンボジア》夢の架け橋プロジェクト開始

国税庁より「認定 NPO 法人」として認定を受ける

宮城県石巻「ジャパンハートこども・内科クリニック」開設

2012

大山健康財団賞受賞

ニーニーちゃんプロジェクト開始

《ミャンマー》社会福祉省覚書締結

《ミャンマー》保健省覚書締結

《ラオス》ヴィエンチャンオフィス開設

2013

《ラオス》保健省覚書締結

《ラオス》医療支援活動を開始

《タイ》バンコクオフィス開設

《ミャンマー》首相夫人・安倍昭恵さん養育施設 Dream Train を公式訪問

《フィリピン》台風30号緊急医療支援

2014

《タイ・インドネシア》国際緊急救援事業開始

《インドネシア》社会省テクニカルアグリーメント締結

外務大臣表彰

沖縄平和賞受賞

「明日の象徴」受賞（長谷川彩未）

《カンボジア》病院建設プロジェクト発表

2015

《ミャンマー》大洪水 緊急支援

《ミャンマー》小児心臓病サポート支援開始

《カンボジア》AAMC / ジャパンハート医療センター開院

大山健康財団 奨励賞受賞（河野朋子）

これまでの主な TV 出演

2005 テレビ東京

ドキュメンタリー特集「ここにいのちある限り」

2007 TBS 「夢の扉」

2009 NHK 教育「ETV 特集～ミャンマーに医療の架け橋を」

毎日放送「情熱大陸」1回目

2010 毎日放送「情熱大陸」2回目

テレビ東京「世界を変える100人の日本人！」

2011 毎日放送「情熱大陸」3回目

2013 NHKBS プレミアム「輝く女」

朝日放送「こんなところに日本人」

2014 テレビ東京「未来世紀ジパング」

内閣府テレビ CM 出演

2015 読売テレビ「グッと！地球便」

2016 朝日放送「こんなところに日本人」

アジアの子どもたちの未来を 拓くために

Asia Alliance Medical Center (ジャパンハート医療センター)



▶遂に開院！ 広がる安心

ジャパンハートの活動の主要拠点としてカンボジアに誕生した Asia Alliance Medical Center (AAMC) は2016年5月の開院から7月15日まで、外来診察：924件、手術：164件、出産：10件となり、その評判は口コミで地域外にまで確実に広がっています。

AAMC のあるポンネルー地区には、出産の際、母子の容体の急変に対応出来る病院が存在しませんでした。この病院では帝王切開による出産にも対応しており、今後もより多くの生まれてくる新しい命を救っていきます。

カンボジアの貧しい人々を救う目的のみならず、ミャンマー・ラオス、さらにはASEAN（アセアン）全体の未来を担う医療センターとして、本格的に稼働させていきます。



photograph by JUNJI NAITO



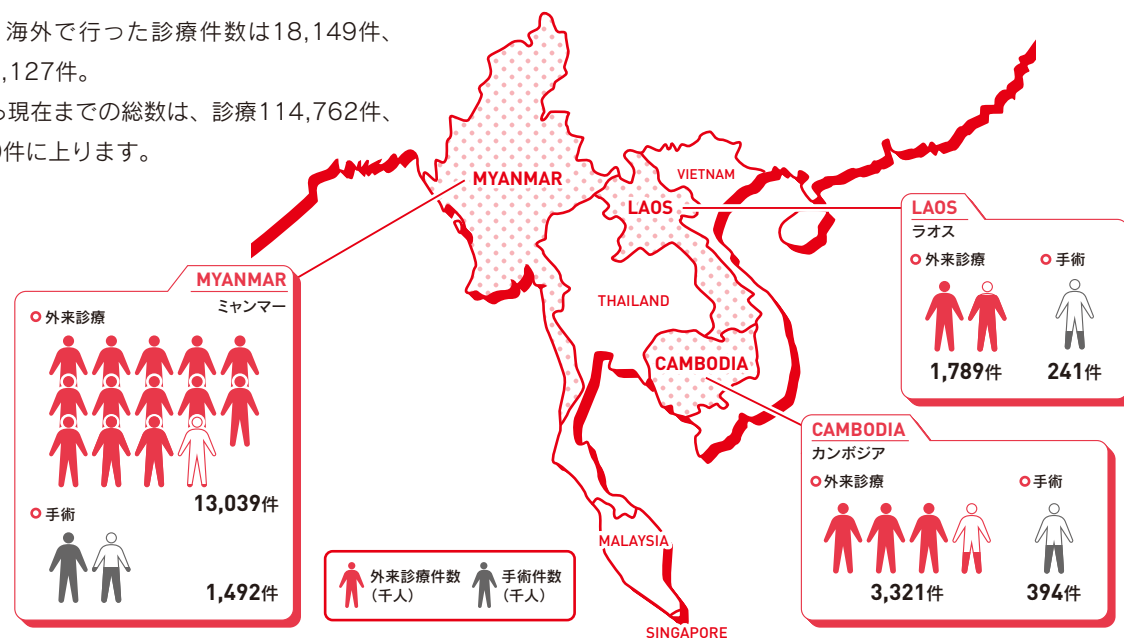
▶難しい症例の子どもも救える病院を目指して

カンボジアには小児がんを診る病院はあるものの、先進国のような適切な治療は行われていないのが実状です。AAMC では、将来的にがんの子どもに的確な治療を行うことができる設備と技術を備えた病院になれるよう、努力を重ねていきます。また、これまで現地での治療が困難な為、来日治療を行っていた子ども達を、ミャンマー、ラオスから受け入れ、治療を行う事のできる体制を整えていきます。



◦ 2015年度ジャパンハートの診療件数

- 2015年度、海外で行った診療件数は18,149件、手術件数は2,127件。
- 団体設立から現在までの総数は、診療114,762件、手術17,960件に上ります。



◦ 現地からの VOICE

Cambodia

妊娠高血圧症候群 Somaly さん

親戚から日本人医師や看護師が診てくれる病院があると聞き、ジャパンハートの病院 AAMC を受診しました。病院のスタッフは皆、私たち妊婦や患者に対してとても親切でホスピタリティをもって接してくれます。出産時もスタッフがさまざまな心遣いしてくれたのでとても安心してわが子を産むことが出来ました。ジャパンハートの皆さまにはとても感謝しております。

Myanmar

懸垂繊維腫 Poe Ei Ei Zin ちゃん

以前に別の病院で診断してもらいましたが、手術をすると神経を傷つけたり、長い間傷が残るかもしれないと言われて、怖くて手術ができませんでした。そんな中、ジャパンハートではしっかり治療をしてくれて、治療後も傷や健康の問題がなく過ごせています。治療をしてくれて本当にありがとうございました。

Laos

右大腿慢性骨髓炎 Mai ちゃん

私の将来の夢は学校の先生になることです。まだ足は良くならないけど、早く良くなりたい。ジャパンハートはとってもいい人達です。私をずっとサポートしてくれてる。学校に行けるようにもなったよ。どうかこれからもサポートしてください。ありがとう。

◦ 2015年度ジャパンハートの活動ハイライト

ジャパンハートは2015年度も多くの皆さまに支えられ、「医療の届かないところに医療を届ける」活動を行うことができました。

現地では治療できない子どもの来日治療を実現し、救うことができました。カンボジアでは Asia Alliance Medical Center(ジャパンハート医療センター) を着工、2016年5月に開院。ミャンマーでは、国レベルでの小児心臓病治療の技術向上に貢献。ラオスでは、医療の届かない山岳地域の貧しい人々に医療を届ける活動を開始しました。



巨大肝嚢胞、先天性総胆管奇形アンサンちゃん。日本から専門医チームを現地に派遣。命を取り留めました。／**ラオス**



ラオスプロジェクトディレクター平山亮子出演読売テレビ「グッと！地球便」放送



ミャンマー大洪水緊急支援発災後医療者が直ちに悪路の中、被災地に入り、3ヶ月にわたり食糧・医療の緊急支援を実施／**ミャンマー**

カレン州巡回診療／**ミャンマー**



心臓病支援
明美ちゃん基金医療団、ヤンキン子ども病院で治療を実施／**ミャンマー**

写真：産経新聞社提供



Asia Alliance Medical Center
(ジャパンハート医療センター)
着工／**カンボジア**



養育施設 Dream Train
で、初めての宿泊遠足へ。／**ミャンマー**



視覚障がい者自立支援全国セミナー開催／**ミャンマー**

冬のクラウドファンディング企画
「Dream Train・すまいるスマイルプロジェクト・カンボジア病院建設寄付企画」「かざして募金」開始

2015

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

2016

1月

2月

3月

4月



カンダール州・ボンネル初の巡回診療／**カンボジア**



看護師限定カンボジアスタディーツアー初実施

最北端の地ボンサリー、初の手術ミッション／**ラオス**



マゲエ管区初の巡回診療／**ミャンマー**



マカラくん来日治療。大きくふくれたお腹の7才の男の子がジャパンハートのもとを訪れました。腎臓がんでした。岡山医療センターの協力で日本での手術が実現。辛い化学療法を乗り越えたマカラくん。少しやせたものの、元気な笑顔で帰国しました。／**カンボジア**



ショッピング型寄付サイト
「みんなで彩るカンボジア病院」公開



チャンペンちゃん来日治療。顔面にアノマリー(先天性奇形)をもつ1才10ヶ月の女の子の手術を長崎医療センターの協力で実現。今後も成長に合わせて治療を行っていきます。／**ラオス**



「キッズニア東京×すまいるスマイルプロジェクト」企画実施／**日本**



東日本大震災復興支援として心のケア活動を継続／**日本**



「Donate a Photo」
写真投稿がすまいるスマイルプロジェクトの支援にかわる期間限定ファンディング

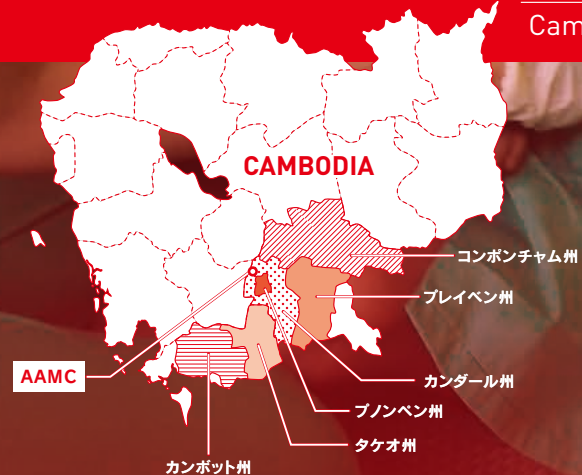


4/14、16、熊本県内で大地震が発生。医療者を派遣し緊急救援を実施／**日本**



カンボジア

Cambodia



20年に及んだ内戦の爪痕が
今も尚深く残るカンボジア。
知識人の大量虐殺により、
当時残った医者はたった40名だと言われている。
貧しい人々に医療の届かないこの国では、
1歳に満たない子どもが
年間約1万人も亡くなっている。

私たちの新たな医療拠点。 現地、そして ASEAN の貧しい人々へ医療を届ける

▶ 拠点病院 AAMC (Asia Alliance Medical Center / ジャパンハート医療センター) 誕生へ

医療支援の提供と現地人医療者の育成の拠点として、カンダール州ボンネルー病院敷地内に病院建設を計画しました。カンボジア保健省と覚書を締結し、2015年10月に着工し、翌年5月に開院を迎えました。この病院の稼働によって、カンボジアの貧困層への安定した無償の医療提供と、継続的な現地人医療者の育成が可能となります。



病院名 AAMC (Asia Alliance Medical Center / ジャパンハート医療センター)

病院詳細 (2016年5月現在) 延べ床面積：637㎡、病床数：40、手術室：3室、分娩室：1室
診療科目 / 一般外科、内科、小児科、周産期科

▶ 医療活動

病院建設と並行し医療活動の拡大にも重点を置いて活動を行いました。提携している3病院で診療と手術活動を行い、9月からは月1回だった活動を月2回に拡大。3病院のある地域、さらに、初めてタケオ州、カンボット州のヘルスセンターで計15回の巡回診療を行うなど、より多くの方に医療を届ける活動を行いました。年間140名に上る日本からの多くの医療ボランティアの参加により、このような医療支援は実施されています。



また、保健活動としてプレイベン州プロモプロム高校等で保健の授業を2回実施しました。

実績 巡回診療、診療：3,321名、手術：394件

活動地 従来からの提携3病院

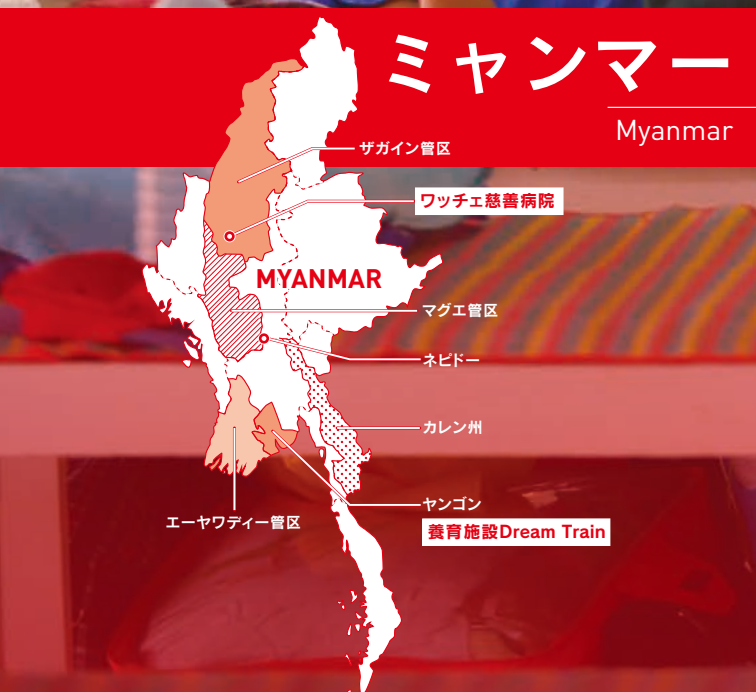
プレイベン州ベイリアン病院・コンボンチャム州チューンプレイ病院・カンダール州ロカカオン病院、
各病院近隣のヘルスセンター

新たな活動地域 タケオ州・カンボット州

▶ 医療学生育成活動「夢の架け橋プロジェクト」

奨学金制度を用いて、貧しくも優秀な学生を対象に就学支援を開始し、今年で6年目を迎えました。10名の奨学生に加え新たに医学生3名、看護学生3名の支援を開始し、計16名となりました。学生たちは大学での授業に加え、団体の医療活動への参加により、実際の医療現場で実践を積むことで、一人一人が着実に力をつけてきています。彼らの「医療者になって、村に帰り、村の人々の助けになりたい」という夢は、近い将来、実現されることでしょう。





ミャンマー Myanmar

世界的に、今後の発展が注目される、ミャンマー。しかし、医療者、特に看護師の不足という深刻な問題を抱えている。保険制度も整っておらず、貧しい人々は病院へ行くことを諦めてしまう。そして国境地域では、貧しさ故に、子どもたちがたった数万円ほどで人身売買されている。

はじまりはここから。 より多くの命を救うために。

▶医療活動

2015年7月末、ミャンマーで豪雨による洪水被害が発生。当初北西部で被害をもたらしていた洪水は、日を追うごとに範囲を拡大しながら南下し、ミャンマーの国土の1/3を覆いました。

ジャパンハートは、ミャンマー医療事業チームと国際緊急救援チームが力を合わせ、現地での緊急救援活動を約3ヶ月にわたり実施。医療と食糧の支援を届けるため、被災地へ医療チームを計17回にわたって派遣すると共に、3,292世帯に米などの食料と水を配布しました。
※ P14 国際緊急救援をご参照下さい。

今年10回を予定していた地方での巡回診療は、洪水支援のために医療者の派遣がかなわず、3回の実施にとどまりました。ワッチェ慈善病院では月2回の集中手術期間に加え、専門家医師を招いた整形外科、小児外科の集中手術を各々年2回実施しました。

また保健活動として、寺子屋で勉強に励む子どもたちを対象に、健康診断、歯科検診、口腔衛生指導を3回実施しました。
※ワッチェ慈善病院で行われた724名の子どもの治療は、J.S.Foundationの支援のもと、実施しています。

実績 ワッチェ慈善病院 ▶ 診療：10,074名、手術：1,492件、巡回診療：973名

活動地 ワッチェ慈善病院、マンダレー市内寺子屋、ミンブー（マグエ管区）、パアン（カレン州）、ボガレー（エーヤワディー管区）

洪水支援 ザガイン管区・マグエ管区・エーヤワディー管区

▶医療人材育成

医学生2名・看護学生9名の奨学金支援を行い、うち医学生2名が無事に学業を終了し、臨床実習へと進みました。また2016年1月からは、新たに医学生5名の支援も開始しました。
※本奨学金支援は一般財団法人新倉会の支援で実施しています。



▶「心臓病の子どもを救う」小児心臓病サポート

産経新聞「明美ちゃん基金」と協力し、第一回目の小児心臓病治療プロジェクトをヤンキン子ども病院で実施。9月6日、日本から10名の医療者が来邇、42名の心臓病の子どもとの治療を行うと共に、現地医師らに技術指導を行いました。

▶「自立に向けた大きな一歩」養育施設 Dream Train

現在の在籍は209名。家庭の経済状況が好転したことにより、7名が施設を卒業しています。子どもたちの自立を目指す中、高校卒業試験に5名が合格。大学進学者数は施設を卒業した児童を含め、計8名になりました。子どもたちに人気の日本語の勉強に力を入れ、日本語検定5級に12名が挑戦、うち2名が合格しました。健康面では、11月から看護師が常駐し、児童の健康管理を行っています。

職業訓練実施項目 看護師・事務・エアコン整備・車両整備・縫製・美容師・パン作り



▶サイクロン孤児支援

2008年にミャンマー南西部を襲ったサイクロン「ナルギス」による孤児41名を対象に、支援を継続しています。今年は、2名が大学へ進学。就職をして1年間が経過した男児2名と、経済状況と養育体制が整った3名の支援を終了。被災後8年が経過し、自立への道を一步一步進んでいます。

▶視覚障がい者自立支援

医療マッサージ職業訓練10か月コースを開講。さらに8月、2月にマッサージ技術と店舗のサービス向上を目的とした全国セミナーを実施、のべ82名の視覚障がい者医療マッサージ師が参加。日本人の医療マッサージの専門家を招いて質の高い施術を学ぶ機会となりました。



ラオスは多くの NGO や国家機関が支援を行っているにも関わらず、後発開発途上国から脱却できずにいる。未だ道路などのインフラも整っておらず、地方の貧しい人々は医療にアクセスすることさえ困難となっている。

photograph by JUNJI NAITO

山々に隔たれた村へも、良質な医療が届くように…。

▶医療活動

新活動地ボンサリー

ラオスの最北端で山々に囲まれる標高1,400mの秘境の地、ボンサリー県で計10回の手術・診療を行いました。山岳地域では海草などに含まれるヨウ素が不足しがちで、甲状腺疾患を患っている人々が多くいました。病巣は、長年放置され肥大化していました。

ボンサリーでは地理的な条件が大きく作用し、外部からの支援が入りにくい状況でした。

現地では貧しい人々が交通費を工面し、ぼろぼろの紙幣を握りしめ私たちのもとを訪れます。

未だラオスの多くの地域は、人々が薬や治療を必要としながらも、医療を受けることが非常に難しい状況です。ジャパンハートは、このような医療の届かない地域に直接出向き、住民の心と身体に医療を届ける活動を行っています。



パークグム郡病院での診療と現地人材育成

パークグム郡では毎月、手術活動と巡回診療を実施。手術の拠点病院となるパークグム郡病院では、185件の手術を通して現地人医療者へ継続的に外科技術の移転を行いました。現地医師は、ジャパンハートの指導の下、ヘルニア、皮膚表層腫瘍切除を執刀できるようになりました。

実績 巡回診療、診療：1,789件、手術：241件

活動地 ビエンチャン特別市 パークグム郡病院、ボンサリー県病院、ボンサリー県 ニョットウー郡病院



▶一時救命措置、ファーストエイドトレーニング

ラオスで救命処置を学んでいる医療者はほんのひと握りの人に限られており、救命処置ができていれば救えた命が、失われる事例が後を絶ちません。

交通事故はもちろん、工場や建築現場などで事故が起きた際にも対応ができるよう、病院、学校、企業等で指導を続けています。

実績 実施回数：全39回、受講のべ人数：1,134人

活動地 パークグム郡病院、ヘルスセンター、保健科学大学看護学科、ラオス国立大学教育学部、ボリカムサイ県・カムワン県、企業施設、ヴィエンチャンインターナショナルスクール 他



○ 国際緊急救援 (JH iER)

▶ ASEAN 各国との連携

インドネシア▶ 現地 NGO Indonesia Disaster and Emergency Foundation と覚書締結。現地人向け研修4回実施。

タイ▶ 現地財団 カセー・チャナオン財団と覚書締結し、関連大学機関と活動を開始。看護教員・看護学生向け研修2回実施。

フィリピン▶ 現地 NGO AMITY との覚書締結最終段階。

カンボジア▶ ジャパンハート事務所で現地スタッフ向け研修実施。緊急時医療支援の実施について保健省との覚書に追加した。

ラオス▶ ジャパンハート事務所で現地スタッフ研修実施。Department of Disaster Management and Climate Change (ラオス災害対策を行う政府機関) との協議し、協力関係について話し合いを実施。

ミャンマー▶ 社会福祉省訪問含め、2016年度に実施を予定。

▶ 国際緊急救援チーム強化及び訓練スキーム作り

内部強化の必要性から、外部より専門講師を招き、東京事務局員・海外事業担当者・ジャパンハート医療スタッフ・協力医療者を対象にし、研修を実施。

▶ ミャンマー洪水緊急支援

20万人を超える人々が被災した(国連発表) ミャンマーで起きた洪水。JH iER では初期現地視察を含め、医療者を派遣し、医療ニーズの把握と同時に診療活動を行いました。洪水は水が引いてからが様々な社会的問題が表面化する為、緊急救援活動を終了したのちは、JH iER よりミャンマー事業に引き継ぎ、フォロー活動を継続しました。



実績 診療：1,992件、食糧支援：3,292世帯

期間 8月2日～10月27日

活動場所 ザガイン管区・マグエ管区・エーヤワディー管区

派遣者 医師(現地人含) 4名、看護師(現地人含) 5名、現地コーディネーター・ロジ担当5名

活動内容 被災状況アセスメント、傷病者診療、食糧支援

▶ 平成28年熊本地震支援

2016年4月14日震度7の前震、16日に震度6.5の本震が発生し、家屋の倒壊や土砂崩れなど熊本県を中心に九州中部に甚大な被害をもたらした熊本地震。JH iER では、地震発生直後より、現地のニーズ調査を慎重に行いました。4月20日には医師1名・看護師2名からなる先遣隊の医療チームを、熊本市南区で700人が避難所として使用している力合西小学校へ派遣し、そこを拠点に被害アセスメントを開始。アセスメント結果をもとに5月9日まで全6陣の医療

チームを現地へ派遣し、熊本市南区での巡回診療、南阿蘇地区の福祉避難所医療ニーズ支援を実施しました。また、緊急支援終了から1ヶ月後には再び現地を訪れ、被災地域の現状調査を行いました。

期間 4月20日～5月9日

活動場所 熊本県南阿蘇村、熊本市南区

派遣者 医師3名、看護師14名、内ボランティア4名

活動内容 巡回診療、福祉避難所医療ニーズ支援



○ 東日本大震災復興支援

▶ 1. 心のケア

宮城県気仙沼市内の公・私立幼稚園・保育所を含む3園および仮設住宅を対象に、「こどもたちのこころとからだの健全を図る」を目標とした心のケアを実施しています。日本※EMDR 学会人道支援活動所属の臨床心理士による月一回の幼稚園・保育所への訪問を行い、個別カウンセリングなどを行いました。

■ 12月に気仙沼市内の幼稚園・保育所・児童館などの子どもに関わる教員を対象に、「気になる子どもの関わりについて」をテーマに臨床心理士が68名に向け講演を行いました。

■ 未就学児の集まる「子どもの森」での小児科医による育児相談、階上(はしかみ)仮設での健康相談を行いました。
■ 仮設住宅でのアロマセラピーの実施など、親子のスキンシップや子どもの良好な心身発育を目的としたイベントを開催しました。

▶ 2. 医療者の派遣

2013年11月より女川町地域医療センター、気仙沼市立本吉病院へ看護師を派遣しています。気仙沼市立本吉病院の医師充足度は東北大学病院や研修指定病院からの医師派遣によって震災以前の状況を取り戻し、2013年10月から開始した小児科医派遣は2015年10月で終了となりました。これまで5名の小児科医が支援を行いました。

※ EMDR とは…心的外傷後ストレス障害にエビデンスのある心理療法



◦ すまいるスマイルプロジェクト

▶ ご家族のかけがえのない時間のために

小児がんと闘う子どもとご家族に、かけがえのない思い出を作って欲しい…。

疾患や治療の影響により移動に不安のある子どもとご家族に、ジャパンハートの医療者が付き添うことによって、安心して旅行・外出を楽しんでもらう「すまいるスマイルプロジェクト」。その噂は口コミで広がり、2015年度は前年度を大幅に超える、計22組のご家族をサポートすることができました。

▶ キッザニアで職業体験！

2015年度は「キッザニア×すまいるスマイルプロジェクト」の招待企画を、キッザニア甲子園とキッザニア東京にて開催。当日の運営はスタッフだけでなく医療者、一般ボラン

ティアの方にもご協力いただき、多くの子どもたちの笑顔に出会うことができました。

▶ 医療技術体験キッズセミナー

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社のご協力のもと開催された「キッズセミナー～お医者さん体験をしてみよう～」では「難しかった。でも普段できない事が体験できた!」「楽しかった!」と、素敵な笑顔を見ることが出来ました。2016年度は更にパワーアップした企画をご用意し、より多くの子どもたちに貴重な体験をしてもらえるよう邁進します。



ご家族からのお便り

「キッザニア企画へ参加したお母さんからのメッセージ」

子どもたちは楽しくて嬉しくてずっと喜んでいました。やりたかったお仕事もできました。見た目が普通になってきたのですが、まだまだ闘い中です。

イライラ、不安、悩みは多く、時にどうしたらよいのかわからなくなる時もあります。だけど、皆さんが応援してくださっている!! と思うと一歩また進んでいくことができます。

たくさんのパワーをありがとうございました。



◦ 国内地域医療支援

▶ 世界に通じる医療者を、僻地・離島病院とジャパンハートが手を組んで育てる

医療者不足にあえぐ日本の僻地・離島への人材支援及び、ジャパンハートの医療人材育成を目的として2008年度より僻地・離島へ看護師の派遣を開始しました。昨年度の医療者派遣数は33名。これまでのべ155名を派遣してきました。

日本の僻地にはしっかりと土地に根ざした地域医療を行う病院や施設が多く、そこでは「総合的に人をみる力」を養うことができます。限られた環境の中で行わなければならない医療は、海外であっても国内であっても医療者の総合的な医療実践能力が必要とされます。単なるマンパワーの補てんとしてではなく、地域医療を広く深く学び、それを実践的に生かしたいという姿勢を持った看護師が各僻地・離島病院で活動することによって、病院側にとってもジャパンハートに

とっても相乗効果を得られるのです。

活動場所 島根県隠岐の島・長崎県上五島・長崎県対馬・山梨県牧丘町・宮城県女川町・気仙沼市本吉町



VOICE JAPAN 「その土地にはその土地のプロがいる」

アドバンスドナース 小鯖 貴子さん

様々な土地に行き働いて気づいたこと、それはそれぞれの地に、その地のプロフェッショナルがいることです。患者さんの情報に精通しているのに加え、その土地のあらゆる状況を踏まえ、統合しながら患者さんの生活・人生を支えていく。看護師不足、看護師の高齢化など大変さがかえながら、誰よりも患者さんに寄り添い、パワフルに働く姿はとてもしっかりいものでした。人のつながりが強い場所だからこそ、本当に大切なことを学ぶことができる。様々な土地での出会いの数々は、私の宝物です。





○ 国際短期医療ボランティア・国際看護長期研修

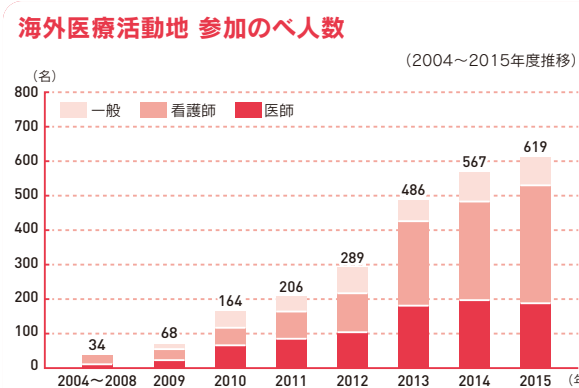
ジャパンハートの活動は、日本から参加されるボランティアの皆さまによって支えられています。その数は活動開始からこれまでのべ2,000名以上にものぼり、2015年度は536名の方に参加いただきました。主に多くの方々は、日本からアクセスのよいアジアの活動地へ「最短2日から参加可能」「語学力・キャリア不問」など、気軽に参加いただける『国際医療短期ボランティア』の仕組みを活用して途上国へ向われています。

▶ “誰でも参加出来る” ジャパンハートの「短期ボランティア」

ジャパンハートの国際短期医療ボランティアは、医療者に限らず、学生の方、社会人の方、そしてお子さま連れのパパやママでもご参加頂くことが可能です。「医療の届かないところへ医療を届ける」活動に、「参加したい」その気持ちがあればどなたでもご参加いただけます。

また、長期でボランティア活動にご参加いただく医師の方々も、各地で活躍されています。

多くの日本人医療者を巻き込むこの参加の仕組みは、経済番組で取り上げられるなど、大きな注目を集めています。



▶ 日本の未来を支える医療人の育成「国際看護長期研修」

看護師の方へは、気軽に参加できる国際短期医療ボランティアの他に、国際看護長期研修というプログラムを用意しています。常に「考えること」が求められる海外・国内僻地離島での臨床実践の中で、医療現場で最も必要とされる、判断力と柔軟性を養い、自立した看護師を育てていきます。

○ 皆様との活動

私たちの活動に参加しませんか？

▶ 海外ボランティアツアー

年に数回、一般・看護師・学生を対象とした海外活動地へのボランティアツアーを企画、実施しています。観光をしながら、活動国の文化に触れ、活動地では、ボランティア体験と人々の生活を学びます。スタッフが同行するので、ひとりの参加や海外渡航が不安な方にも大変おすすめです。



▶ 国内イベント・セミナー

様々なイベントを関東・関西で実施しています。活動の説明や報告を通じて、国際協力への理解を深め、同じ興味を持つ方々との交流の場としています。また、医療者向けの説明会や講演を行い、途上国医療の現状、現地の生活、実際に医療活動を行った医療者たちの話も聞くことができます。



▶ 学生インターンシップ

インターンシップとは、半年から一年程度、各活動地の運営の一端を担い、無給で団体に従事しながら NPO の仕事を学ぶ活動形態です。2015年度は計4名が参加しました。この貴重な経験を糧として就職活動に活かす、国際協力の世界に入るなど、その後の進路は様々ですが、皆多くの実りを得て、社会に旅立っています。



▶ 東京事務局ボランティア・プロボノ

国内外で行う活動の基盤となる業務を行うのが東京事務局です。ここでは、多くの方がボランティア活動をされています。2～3ヶ月に1回、週2回など、ライフスタイルに合わせた参加が可能です。また翻訳、WEB 広報、デザインなど、専門性の高いスキルや知識を活かして「プロボノ」としてお手伝いいただく方もいます。



活動への支援

様々な形で支援いただけます。

ジャパンハートの活動は、皆様の支援で支えられています。

皆様からお預かりした寄付金・募金は活動地での薬品・医療器具等の購入及び活動費として大切に使用させていただいています。

会員になる

正会員・賛助会員（医療従事者・一般・学生・法人）として、ぜひ私たちの活動をサポートしてください。

会員の特典

①活動地への短期ボランティア・研修への参加資格

②年次報告書(年1回)、メールマガジン(月1回)等の購読

③ジャパンハート主催会員限定イベントへのご招待

④総会での議決権（正会員のみ）

法人会員の特典

●当団体の Web サイト上の「支援団体・企業一覧」への掲載

●オリジナルのスタディツアーなど特別プログラムの企画・実施、社員様参加時の割引制度など

年会費

	正会員	賛助会員
医療従事者	20,000円	18,000円
一般	10,000円	10,000円
学生	10,000円	6,000円
法人	100,000円	60,000円

お申込み方法

電話：東京事務局へお問い合わせください。

インターネット：団体ホームページの「支援する」→「会員になる」よりお申込みください。

マンスリー寄付

1日約30円からできる、継続的な活動サポートです。毎月決まった金額を寄付することができます。

▶ オンライン決済

団体ホームページ「支援する」ボタンより、「寄付する」ページへ。「毎月、継続的に寄付する」から決済をお願いします。

▶ 口座からの自動引き落とし

電話、電子メール、団体ホームページ「お問い合わせフォーム」にて口座振替用紙をご請求ください。

1回の寄付・募金

▶ オンライン決済

団体ホームページ「支援する」ボタンより、「寄付する」ページへ。「今回のみ寄付する」から決済をお願いします。

▶ 下記口座への振込

お申込み方法	
〈ゆうちょ銀行からお振込みの場合〉	〈他の金融機関よりお振込みの場合〉
銀 行 名 ゆうちょ銀行	銀 行 名 ゆうちょ銀行
口 座 名 義 特定非営利活動法人 ジャパンハート	口 座 名 義 トクヒ ジャパンハート
口 座 番 号 00910-3-166806	預 金 種 目 当座
	店 名 ○九九（ゼロキュウキュウ）
	口 座 番 号 0166806

当団体は認定NPO法人に認定されているため、ご寄付をいただくと税制上の優遇が受けられます。

《控除の対象とならないもの》 ●会費（正会員・賛助会員） ●長期研修参加費 ●短期ボランティア現地医療活動費
●イベント参加費 ●募金箱への募金・匿名寄付

詳しくは最寄りの税務署へお尋ね下さい。

特定の事業への寄付

▶ Dream Train（ドリームトレイン）サポーター(マンスリー寄付)

ミャンマーの養育施設「Dream Train」では子どもたちの食費や教育費を1対1の里親支援によりまかなってきましたが、近年ミャンマーの社会情勢が急激に変化し、人件費や物価は高騰し続けており、生活費や施設の修繕費等がかさんでいます。また子どもたちの将来を見据えた職業訓練費用も必要になってきています。子どもたちが安心して健康に暮らしていくために、毎月のご寄付をお願いします。サポーター特典として、年に2回、施設の子どもたちからメッセージと半年間の活動報告が届きます。

※オンライン決済、口座振替が可能です。



▶ カンボジアの医療人育成「夢の架け橋プロジェクト」支援

ジャパンハートはカンボジアの未来の医療を担っていく学生をサポートしたいと思い、奨学生支援を行っています。貧しくとも医療者になりたいと希望する地方の学生が大学（医学部・看護学部）へ入学し、医師・看護師免許を取得できるようにサポートします。

カンボジアでは物価の高騰が続いており、現在行っている里親支援だけでは、資金が不足しています。奨学生が安心して勉学に励むことができる環境を維持するため、ご寄付をお願いいたします。



ボランティアとして

医療者のみならず、一般、学生の方でも参加できます（海外での活動参加には会員登録が必要）。

詳しくは東京事務局までお問い合わせください。

▶ 短期で参加2日間～

①ミャンマー

▶ ザガイン・ワッチェ慈善病院

手術や診察に来る多くの患者であふれる病院では、外来診察介助、病棟看護ケア介助、医療器具の洗浄の手伝い、患者との交流および現地人スタッフへの日本語教育など、様々な仕事があります。

▶ 養育施設 Dream Train

施設での食事作り・掃除・洗濯をスタッフや子どもたちと一緒に手伝いください。遊んだり、勉強を教えたりと、言葉は通じずとも、子どもたちとの交流が図れます。

②カンボジア

AAMC / ジャパンハート医療センターで、短期ボランティア医療者が主体となり診療・手術を実施します。食事作りや、宿舎や病院の掃除も皆でします。より多くの方がスムーズに治療を受けることができるよう、患者の案内や誘導の手伝い、入院患者の方との交流を図ってください。

③ラオス

現地の病院における外科手術のほかに、医療機関へのアクセスが悪い僻地の巡回診療を行っています。ラオスでは短期ボランティア医療者、現地人医療者が主体となり診療を実施します。また、現地人医師・看護師への指導も行います。

▶ 日本国内で参加

▶ 東京事務局での運営サポート

宛名書きやパソコン入力作業、資料の発送作業、各種イベントの手伝いなど。

▶ プロボノ支援

広報活動、WEB ツールの運用、翻訳（英語、ミャンマー語、クメール語、ラオス語）、コンピュータシステム構築、印刷物の企画、デザイン、画像編集、レイアウト、イベント・キャンペーンの企画運営、写真や動画撮影、編集など。

▶ すまいるスマイルプロジェクトでの企画サポート

企画から実行までの各種調整、付き添い、しおりやアルバム作成など。

○ 広報活動

▶ 企業 / 団体との主な取り組み：ごく一部を紹介します

※50音順



愛知県教員組合

毎年ミャンマーの養育施設 Dream Train へ教育に関する指定寄付をいただき、課外授業を兼ね、児童全員で1泊2日の遠足に行くことができました。



株式会社エモテント

2013年より法人会員、さらに継続的なご寄付で団体の活動をご支援いただいています。今期は特にジャパンハート医療センター建設と運営をご支援いただきました。



国際ロータリー第2750地区

水野ガバナーのご尽力により記念講演の機会を頂き、日本最大の会員数の地区大会にて、約2,500人の方々に向け、団体の認知度を高めるための広報協力をしていただいています。



ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会
Johnson & Johnson Contributions Committee

ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会

小児がんの子どもを応援する「すまいるスマイルプロジェクト」にご賛同いただき、協働でのイベントやファンレイジングの実施など、多方面からご協力いただきました。



新日本製薬 株式会社

団体の活動にご賛同いただき、2010年より途上国・東日本大震災被災地での医療活動、難病の子どもへの来日治療などのご支援をいただいています。



ソフトバンク株式会社

携帯電話の利用料金の支払いと一緒に継続的な寄付ができる「かざして募金」のサービスをご提供いただき、より簡単に支援への参加が可能になりました。



タヒボジャパン

タヒボを使用した自社製品のご提供をはじめ、災害救援時にも特別支援をいただくなど、団体設立当初から、10年にわたりご支援いただいています。



トーイツ株式会社

ジャパンハート医療センターをファウンダーとしてご支援くださると共に、自社製品の分娩監視装置を3台ご寄付いただき、現地での安全な分娩のため活用させていただいています。



長崎県病院企業団

長崎県離島へのさらなる医療人材支援の充実を図り、2013年、企業団とパートナーシップ協定締結。ラオスの難病の患児チャンペンの受け入れにもご協力いただきました。

▶ 主なメディア露出

テレビ

4月 NHK ワールド、NHKBS1 「Side by Side」
ミャンマー・活動の特集

5月 読売テレビ「グッと！地球便」
ラオス・看護師平山亮子出演

NHK 岡山、瀬戸内海放送、西日本放送、OHK 岡山放送、NiB 長崎国際テレビ 他

新聞

産経新聞、毎日新聞、沖縄タイムス（年間連載）、山陽新聞、佐賀新聞 他

▶ Topics

大山健康財団 / 大山激励賞受賞

ミャンマーで10年活動を続ける、看護師・河野朋子の医療協力、緊急救援活動、看護師育成等の活動が高く評価され、表彰を受けました。



ミャンマーで結婚をし、一児の母となった河野朋子。なお一層の医療貢献を約束した。

○ 会計報告

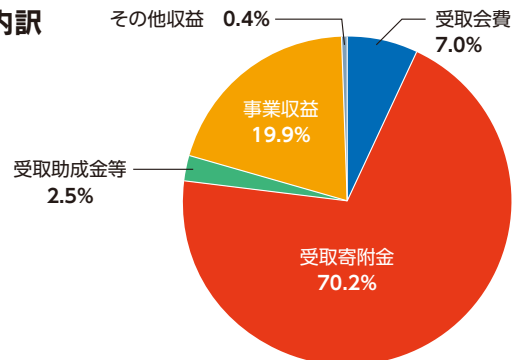
▶ 2015年度 活動計算書

2015年4月1日から2016年3月31日まで

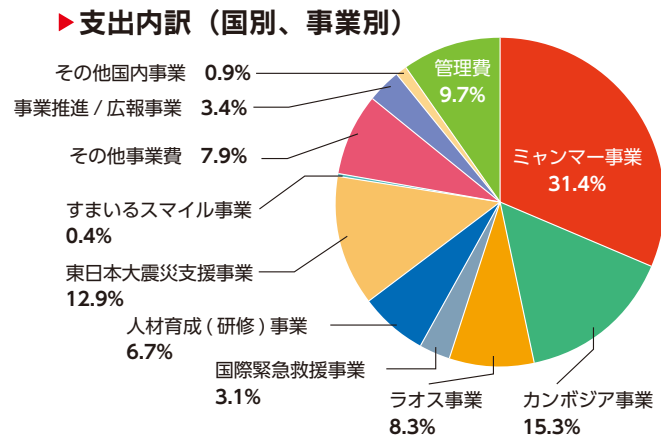
(単位：円)

科目	決算額	前年度決算額
I 経常収益		
1 受取会費	17,234,000	15,786,000
2 受取寄附金	*173,315,066	121,860,666
3 受取助成金等	6,250,400	10,667,078
4 事業収益	49,173,166	48,857,535
5 その他収益	1,090,432	16,901,247
経常収益計	247,063,064	214,072,526
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費	77,610,451	76,189,869
(2) その他経費	127,692,678	114,322,391
旅費交通費	22,610,332	24,685,625
医療支援・医療器具・備品費	18,998,221	16,335,179
学業・子ども支援費	15,616,125	14,605,432
地代・家賃	7,839,560	7,154,294
減価償却費	6,395,081	5,002,111
消耗品費	4,140,984	4,997,170
車両費	3,002,051	3,883,968
寄附金支出（宮城県他）	24,467,860	3,993,562
その他活動に係る経費	24,622,464	33,665,050
事業費計	205,303,129	190,512,260
2 管理費		
(1) 人件費	12,797,941	13,103,620
(2) その他経費	9,258,494	8,660,012
管理費計	22,056,435	21,763,632
経常費用計	227,359,564	212,275,892
当期経常増減額	19,703,500	1,796,634
III 経常外収益		
固定資産売却益（海外土地建物）	1,160,161	1,061,723
経常外収益計	1,160,161	1,061,723
IV 経常外費用		
固定資産売却除却損（石巻のクリニックの解体費等）	-	21,023,932
雑損失	45,882	-
控除対象外消費税等	1,355,801	-
経常外費用計	1,401,683	21,023,932
税引前当期正味財産増減額	19,461,978	▲ 18,165,575
法人税、住民税及び事業税	70,000	71,068
当期正味財産増減額	19,391,978	▲ 18,236,643
前期繰越正味財産額	249,231,407	267,468,050
次期繰越正味財産額	268,623,385	249,231,407

▶ 収入内訳



▶ 支出内訳（国別、事業別）





特定非営利活動法人 **ジャパンハート**

問い合わせ・資料請求

特定非営利活動法人ジャパンハート 東京事務局
〒110-0016 東京都台東区台東 1-33-6 セントオフィス秋葉原 10 階
TEL. 03-6240-1564 FAX. 03-5818-1610
E-mail : info@japanheart.org URL : <http://www.japanheart.org/>